

プロレタリア世界革命の旗の下
万国の労働者団結せよ
労働者共産主義委員会

1. 共共第三一四大合の意義とわが共共黨の前進した地歩 「計綱全通選」・「計綱再選」 「選選粉砕」の諸問題を粉砕せよ	共共第四回西派批判 共共第四回の歐羅巴批判 「一國共共黨とわがわが」 世界革命運動の前途と西派共共黨中のために
2. 旧共共第一四大合共共第四一共共共共第四回西派批判	「共共第一」 全通における先進的動向の任務

[illegible]

[illegible]

革共同革マル派批判

二、政治的任務を低め武装と武装闘争に敵対する「大衆運動と革命運動の弁証法

A. 政治的任務を低め、大衆闘争の「革命闘争」への成長を願望

[illegible]

「B 安保・沖繩闘争方針」
「過渡的

要求における小ブル性

C 労働組合運動に対する態度に

おける組合主義

D. 軍事・パルチザン戦争への目
和見主義的態度

[illegible]

ブルジョア
むけた革命

100

三、バンダラ・デシユ

ける闘い

罪の役割

[illegible]

七二年春關
共關委員會
「賃金白書」
批判

階級対立に目をつむり、「国民

に立脚する傾向を粉碎せよ！

強され切れていないところである。目標管理など企業組織を破壊し、あつちないとなつて、これに資本の側は、市場下の意識、顧客需要を増大するための種々の努力が、それ故に先行する。

要求は現実からつき出せ／＼

を合して、勿論の経緯は消
われる。そればかりで
ない。歴史的経緯から一旦して主
に對しては、いわゆる

階級闘争として推進せよ！

「もし、この本が、あなたに読まれたら、どう思いますか？」

